

戦争する国、大軍拡NO！命と暮らしを守れ！

今こそ、憲法9条！！

11月「19の日」行動



岸田内閣は安倍元首相の国葬を国民の世論二分の下で、強行しました。また、自民党議員や政治との癒着も大きな問題となっている統一協会問題を本気になって解決しようとしません。その政治姿勢が国民の不信を招き、支持率は一気に低下しています。これらは、安倍改憲路線を継承しつつ、統一協会問題に直面する岸田政権にとって、矛盾になっています。

いま、国民生活は、円高・物価高騰と年金の減額・医療費の負担増が直撃し、賃金は上がらないもとので、危機にさらされています。アベノミクスの延長では国民生活はつぶされます。

そういった中で、岸田内閣はロシアの侵略や北朝鮮の軍事拡大を利用して、敵基地攻撃など戦争する国づくりと大軍拡を進めようとしています。今こそ改憲と軍拡ではなく、命と暮らしを守れと世論を広げることがカギになっています。「憲法改悪を許さない全国署名」をひろげ、平和を願う多くの仲間や市民とともに、声を上げましょう。

とき **11月19日（土）**

午後4時30分～ 街頭演説

午後5時00分～ デモ

ところ 京都市役所前（御池通側歩道）

呼びかけ 安保法制廃止をめざす市民アクション@京都